

## 日本での交換留学

国立台湾大学

センマンディエ

学籍番号 k2490053

あっという間に、半年間の交換留学生活が終わろうとしています。もともと海外交換留学は私の大学生活の計画にはありませんでしたが、お茶大での半年間は、間違いなく人生の中で大切な思い出の一つになりました。

最初は、日本語を正式に学んだ経験がなく、とても不安でした。しかし、この留学期間中に会った優しい先生方や友達のおかげで、日本語で話すことに自信が持てるようになりました。

交換留学生として、学業は当然生活の中心の一つでした。この学期では、自分の能力に自信がなかったため、留学生向けの授業を中心に選びましたが、それでも多くの学びがありました。例えば、得意だと思っていた漢字の授業では、母語と日本語の漢字の微妙な違いによってよく間違えることがありました。そんな中、加藤先生はいつも優しく丁寧に教えてくださいました。先生のおかげで、以前は大嫌いだった発表も、今ではそれほど怖くなくなり、大きな成長を感じています。一方、自分は文法が苦手だと分かっていたので、2つの文法の授業を選びました。山口先生とビンデリア先生の教え方は全く異なりますが、どちらも丁寧に教えてくださり、苦手だった文法の理解が深まりました。日本語の学習以外では、日本事情演習の授業が特に印象に残っています。李址遠先生の

「日本事情演習 5B」では、文化に関する多くの概念を学びました。毎回の授業内容はとても考えさせられるものでした。そして、西川先生の「日本事情演習 2B」では、東京の歴史について多くの知識を得ることができました。また、小学生との交流もとても特別な体験でした。最初は緊張しましたが、この授業でたくさんの楽しい思い出ができました。





学業以外にも、この半年間で多くの場所を訪れました。東京だけでなく、岩手や三重のような観光客にとってはあまり優先されないような県にも行くことができました。また、初詣や花火大会など、夢に見ていたイベントにも参加することができました。一緒に旅行してくれた友人たちのおかげで、とても楽しく充実した半年を過ごすことができました。

最後に、この留學生活中にお世話になった皆さんに感謝の気持ちを伝えたいです。まずは国際課の大野さん、岩崎さん、入国前の手続きにご協力いただきありがとうございました。国際教育センターAAの皆さん、楽しい文化体験教室を企画してくださりありがとうございました。最後に、指導教員の棚橋先生とチューターの山井さん、忙しい中、いつも私の生活の話聞いて気にかけてくださり、返信もしていただいてありがとうございました。この半年間、本当にたくさん助けていただきました。

日本に来たのはたったの4か月間でしたが、この期間で得た思い出や成長は、これからの人生において欠かせないものになると思います。ここに来ることができて本当に良かったと心から感じています。

。